

スターチスの電照開始時期と終了時期 ～10月初旬から3月下旬までの電照で4月初旬までの切り花が3割増～

1. はじめに

暖地園芸センターでは、平成24年度からスターチス・シヌアータ（以下、スターチス）の切り花本数を増加させる電照栽培技術の開発に取り組んでおり、これまでに市販の光源のうち白色LED電球の有効性を明らかにしてきました。

ここでは、白色LED電球による電照開始時期および電照終了時期と切り花本数、品質の関係を紹介します。

2. 試験方法

品種は「サンデーバイオレット」と「紀州パープル」を用い、2013年9月13日に定植しました。光源に昼白色LED電球（Panasonic LDA6N-H）を用い、光の放射照度を 0.16Wm^{-2} として終夜電照を行いました。電照の期間は表1のとおりとし、冬期の最低夜温は 5°C としました。

3. 試験結果

① 電照の開始時期

4月2日までの総切り花本数は、両品種とも無

表1 電照の開始時期と終了時期

試験名	電照	
	開始	終了
①電照の開始時期	10月1日	3月21日
	10月22日	
②電照の終了時期	10月1日	11月26日
		1月26日 3月21日

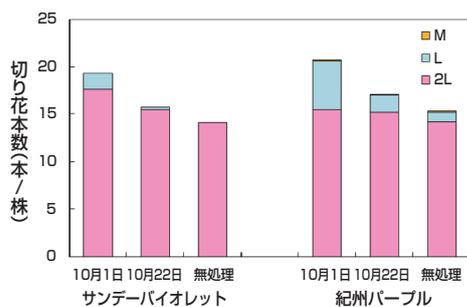


図2 電照開始時期と階級別切り花本数

処理に比べて10月1日（定植18日後）開始で約35%、10月22日（定植39日後）開始で約11%増加しました。また、電照開始時期が早いほど年明け後の切り花本数が増加しました（図1）。上物である2L切り花の本数は、「サンデーバイオレット」で10月1日開始が無処理や10月22日開始より多くなりました（図2）。

② 電照の終了時期

11月26日から2カ月おきに電照の終了時期を検討したところ、両品種とも年内の切り花本数に電照終了時期による大きな差は認められませんでした。年明け後の切り花本数は3月21日終了で多くなりました（図3）。

4. まとめ

スターチス栽培において、白色LED電球で10月初旬から3月下旬まで終夜電照すると4月初旬までの切り花本数が3割以上増加しました。本年度は、現地実証試験と最適な電照方法や電照による増収効果の品種間差などを調査する予定です。（園芸部 伊藤 吉成）

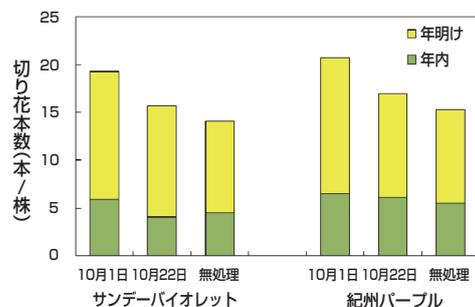


図1 電照開始時期と切り花本数

2013年11月8日～2014年4月2日までの切り花本数

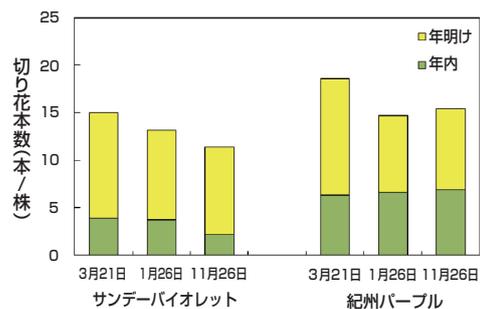


図3 電照終了時期と切り花本数

2013年11月8日～4月2日までの切り花本数